

2023 年度活動方針

【HoPE の目的】

同友会の提唱している「21 世紀型企業づくり」を実現し、持続可能な社会を担う産業・企業を作り上げるため、産学官による協力体制を構築し 21 世紀の社会をリードする企業ニーズを熟成させ、大学や各種研究機関のシーズを活用して、製品化・事業化の可能性を追求していくことを目的とする。

====2023 年度スローガン=====

いかなる事態でも **しなやかな事業 しなやかな企業** となるべく、
先進的 且つ、**持続可能な社会のために必要なモノづくり、コトづくり、**
サプライチェーンの連携を通して、企業の変革を目指そう！

=====

世界的なエネルギー需要のひっ迫や気候変動は、脱炭素やエネルギー自給の重要性を浮き彫りにしています。原材料や食料供給はかつてない局面を迎え、人口減少や少子高齢化も進み、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

そうした中 2022 年度 HoPE は、アップデート講座 partⅢ「北海道の森林資源を考える」、partⅣ「企業と地域を変える『デザイン経営』」をシリーズで開催。さらに、積雪寒冷地のまちづくりやサーキュラバイオエコノミー社会、DX、メンタルヘルス、マーケティング、さらに道産ワインや食、農・水産業の可能性など、これからの北海道を展望して多面的に学びあいました。

モノづくり、コトづくりはじめ、農業や食料、さらに医療・介護・福祉・教育・物流・交通等を包括した豊かで持続可能な地域社会構築のカギは、産学官の有機的な連携にあります。こうした期待に応え、新年度は産学官連携活動をさらに活性化させ、しなやかな事業 しなやかな企業づくりを進めてまいります。

活動テーマ

1. 地域社会への貢献

- ①全道の産学官ネットワークの連携を強化し、持続可能な地域社会を創造する活動
- ②子どもや学生、一般市民を対象とした社会教育活動の実施

2. 経営体質の変革

- ①ジェンダー平等など多様性を大切にして、誰もが潜在力を発揮できる社会、企業づくり
- ②「デザイン経営」によるイノベーションの創出や、ブランドの構築

3. 地域資源の活用

- ①本道の基幹産業「食」を活かした新たなビジネスの開拓
- ②「感性価値を高めた観光」を中核とする地域活性化への貢献

4. 進化への適応

- ①日々高度化する AI、ICT 技術の活用を加速する取り組み
- ②新たな市場創造を目指すスタートアップ企業のチャレンジに学ぶ

5. 地域循環型社会の創造

- ①北海道の地域特性を生かした『創エネ、省エネ、楽エネ技術』への取り組み
- ②生物多様性と豊かな自然環境を大切にした企業づくり